



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月3日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成30年10月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	11,790	4.9	674		568		497	
30年2月期第2四半期	12,395	8.6	342		232		274	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	20.41	
30年2月期第2四半期	11.26	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	11,709	6,965	59.5	285.88
30年2月期	12,993	7,462	57.4	306.24

(参考)自己資本 31年2月期第2四半期 6,965百万円 30年2月期 7,462百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		3.00	3.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年 2月期の業績予想(平成30年 3月 1日～平成31年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	2.0	30	54.2	250	18.0	10	80.6	0.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	24,470,822 株	30年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	104,772 株	30年2月期	104,425 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	24,366,223 株	30年2月期2Q	24,366,503 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
商品別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の増勢や業況感の改善による個人消費の持ち直しがみられるなど、緩やかな景気拡大基調が続いております。一方、国外における政治・経済動向の不確実性や地政学的リスクの拡大などの懸念材料も多く、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、Eコマース分野は好調に推移しているものの、ショッピングセンターを中心とした小売業態において、消費マインドの復調の足取りは鈍く、依然として厳しい環境が続いております。

このような経営環境のなか当社は、中期経営計画の2年目において、「“K A I Z E N”し発展させ適応していく」を行動方針とし、様々な施策に取り組みました。

営業面では、「日本一お客様に喜ばれる販売員」を目指し、商品知識習得のための動画教育プログラム「商品大學」に加えて、接客技術を高めるための「人財大學」を全店舗に定期配信することで、現場教育体制の充実を図っております。また、Eコマース分野の更なる成長に向けて、自社オンラインショップと従来のコーポレートサイトを統合・刷新し、集客力の強化を図りました。さらに、デジタルマーケティングを活用した販促効果を最大化するために、モバイルアプリ会員の獲得に向けたアプリダウンロードキャンペーンを実施する等、引き続きオムニチャネル化を推進しております。

商品面では、「日本一お客様に喜ばれる商品」を目指し、スラックス・ドレスシャツといったクールビズアイテムを中心に、機能性や利便性を付加した商品開発に注力いたしました。また8月にはこだわりを持ったお客様に向けて、オーダースーツの秋冬商品新作先行受注会を実施いたしました。さらに、パリコレデザイナーである田山淳朗氏と当社のプライベートブランド「エム・エフ・エディトリアル」がメンズビジネスアイテムでコラボレーションし、生地や仕立て、細部までこだわった、高付加価値商品の販売を開始いたしました。

これらにより8月度は堅調に推移したものの、3月度から7月度にかけての異常気象や自然災害等が影響し、春夏商品全般が苦戦した結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は6.8%減となりました。

店舗面では、新たな成長戦略の一環として、従来は独立店舗型であったビッグサイズ紳士衣料「グランバック」をショッピングセンターに1店舗出店したほか、主力業態のタカキューを3店舗、計4店舗出店し、低効率等によりタカキューを2店舗、セマンティック・デザイン、エム・エフ・エディトリアル、シャツ・コードをそれぞれ1店舗退店した結果、当第2四半期会計期間末では前年同期比5店舗増の310店舗となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は117億9千万円（前年同期比4.9%減）、営業損益は6億7千4百万円の損失（前年同期は営業損失3億4千2百万円）、経常損益は5億6千8百万円の損失（同経常損失2億3千2百万円）、四半期純損益は4億9千7百万円の損失（同四半期純損失2億7千4百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して12億8千3百万円減少し、117億9百万円となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が10億2千7百万円、売掛金が2億8千2百万円、商品が1億6千6百万円、その他の未収入金が2千6百万円、固定資産で無形固定資産が3千1百万円、投資その他の資産で差入保証金・敷金が2千1百万円、繰延税金資産が3千1百万円それぞれ減少したこと、流動資産で貯蔵品が2千4百万円、繰延税金資産が1億9千2百万円、投資その他の資産で関係会社株式が1億6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して7億8千7百万円減少し、47億4千3百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が7億4百万円、未払法人税等が9千5百万円それぞれ減少したこと、流動負債で賞与引当金が1千万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して4億9千6百万円減少し、69億6千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が5億7千万円減少したこと、その他有価証券評価差額が7千4百万円増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して4億2千7百万円減少し、1億9千8百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億9千3百万円の支出（前年同期比2億4千8百万円の支出増加）となりました。これは税引前四半期純損失6億3千万円、仕入債務の減少7億4百万円および法人税等の支払1億2千万円等による資金減と、非資金的費用である減価償却費2億2千7百万円、売上債権の減少2億8千2百万円およびたな卸資産の減少1億4千2百万円等の資金増によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3千8百万円の収入（前年同期比4億9百万円の収入増加）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億4千万円および無形固定資産の取得による支出3千3百万円等がありましたが、定期預金の減少による収入6億円と敷金および保証金の回収による収入3千8百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により7千2百万円の支出となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績および下半期の計画を考慮し、以下の通り修正いたします。

なお、平成30年4月6日付「平成30年2月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

平成31年2月期（通期）個別業績予想数値の修正（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	26,300	200	400	100	4.10
今回修正予想（B）	25,600	30	250	10	0.41
増減額（B）－（A）	△700	△170	△150	△90	－
増減率（％）	△2.7	△85.0	△37.5	△90.0	－
前期実績	26,134	65	304	51	2.12

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226,593	198,686
売掛金	1,333,925	1,051,848
商品	4,265,537	4,098,748
貯蔵品	71,582	96,290
繰延税金資産	103,387	295,875
その他	296,170	276,052
流動資産合計	7,297,196	6,017,502
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	633,000	680,977
器具及び備品(純額)	416,019	374,649
その他(純額)	17,625	1,945
有形固定資産合計	1,066,644	1,057,572
無形固定資産	262,147	230,321
投資その他の資産		
関係会社株式	341,276	448,016
賃貸不動産(純額)	77,785	76,679
差入保証金	164,988	155,961
敷金	3,619,545	3,607,184
繰延税金資産	85,834	54,410
その他	77,835	61,893
投資その他の資産合計	4,367,266	4,404,145
固定資産合計	5,696,058	5,692,038
資産合計	12,993,254	11,709,541

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,133,948	785,793
電子記録債務	1,923,502	1,567,224
未払法人税等	206,764	111,459
賞与引当金	185,842	196,212
店舗閉鎖損失引当金	1,314	—
その他	922,516	936,395
流動負債合計	4,373,889	3,597,085
固定負債		
資産除去債務	1,037,865	1,036,621
その他	119,457	110,174
固定負債合計	1,157,323	1,146,796
負債合計	5,531,212	4,743,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,794,372	4,224,006
自己株式	△26,298	△26,371
株主資本合計	7,336,559	6,766,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,482	199,538
評価・換算差額等合計	125,482	199,538
純資産合計	7,462,041	6,965,658
負債純資産合計	12,993,254	11,709,541

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	12,395,779	11,790,170
売上原価	5,070,736	4,855,900
売上総利益	7,325,042	6,934,269
販売費及び一般管理費	7,667,256	7,608,904
営業損失(△)	△342,213	△674,634
営業外収益		
不動産賃貸料	152,352	155,806
手数料収入	51,448	50,094
その他	21,593	21,442
営業外収益合計	225,393	227,343
営業外費用		
不動産賃貸費用	103,172	102,904
その他	12,815	17,848
営業外費用合計	115,987	120,753
経常損失(△)	△232,807	△568,044
特別損失		
減損損失	65,559	62,156
特別損失合計	65,559	62,156
税引前四半期純損失(△)	△298,367	△630,201
法人税、住民税及び事業税	60,329	60,813
法人税等調整額	△84,269	△193,747
法人税等合計	△23,939	△132,934
四半期純損失(△)	△274,427	△497,266

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年8月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△298,367	△630,201
減価償却費	246,075	227,082
減損損失	65,559	62,156
賞与引当金の増減額（△は減少）	62,731	10,369
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	—	△1,314
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△5,635	—
有形固定資産除却損	1,767	926
受取利息及び受取配当金	△3,918	△3,803
売上債権の増減額（△は増加）	282,913	282,076
たな卸資産の増減額（△は増加）	268,337	142,079
仕入債務の増減額（△は減少）	△953,103	△704,433
未払消費税等の増減額（△は減少）	46,704	△52,046
その他	△46,373	△5,484
小計	△333,307	△672,591
法人税等の支払額	△211,143	△120,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544,451	△793,331
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△267,560	△140,731
無形固定資産の取得による支出	△34,113	△33,672
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	2,300,000	1,200,000
敷金及び保証金の差入による支出	△86,836	△18,251
敷金及び保証金の回収による収入	159,083	38,205
資産除去債務の履行による支出	△10,945	△4,601
その他の資産取得による支出	△34,936	△6,600
利息及び配当金の受取額	3,946	3,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,638	438,174
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の増減額（△は増加）	—	△73
配当金の支払額	△73,444	△72,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,444	△72,750
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△589,257	△427,907
現金及び現金同等物の期首残高	829,160	626,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	239,903	198,686

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)		前事業年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,867,581	39.3	4,793,992	40.7	10,610,590	40.6
中衣料	516,648	4.2	404,206	3.4	2,036,105	7.8
軽衣料	6,552,287	52.8	6,110,563	51.8	12,435,508	47.6
その他衣料等	459,261	3.7	481,407	4.1	1,052,295	4.0
合計	12,395,779	100.0	11,790,170	100.0	26,134,500	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。